

# セキュリティキャンプ・ キャラバン - 函館 -



私たちのインターネットは、  
私たちが守る!

若年層の情報セキュリティ意識の向上と優れたセキュリティ人材の発掘と育成を目的として、毎年開催しているセキュリティキャンプの成果とその蓄積されたノウハウを広く一般の方々にも公開すること、これからキャンプに参加していただきたい若い方々に正しい情報セキュリティの理解と意識の向上を図ってもらうことを目的として、「セキュリティキャンプ・キャラバン函館」を開催します。皆様のご参加をお待ちしております。

開催日時：平成18年12月17日(日) 13:00~17:30(予定)

開催場所：公立はこだて未来大学 R791教室(JR函館駅よりバスで約45分)

参加の申込：E-mailまたは往復葉書にてお申してください。

氏名、所属(学校名)、連絡先(TEL、E-mail)をお知らせください。

往復葉書の場合は、返信面あて先にご自分の住所・氏名を明記してください。

参加申込宛先：公立はこだて未来大学事務局総務課 セキュリティキャンプ・キャラバン担当  
〒041-8655 函館市亀田中野町116-2 TEL:0138-34-6449 E-mail:yoyaku@fun.ac.jp

問合せ：財団法人 日本情報処理開発協会「セキュリティキャンプ事務局」

資料請求先 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8(機械振興会館内)

TEL:03-3432-6964 FAX:03-3432-9389 E-mail:camp@res.jipdec.jp

■個人情報の取扱いについて(以下の内容にご同意の上、お申し込みください)

参加申込みの際にいただきました個人情報は、セキュリティキャンプ・キャラバンの運営のみに使用させていただきます。第三者への個人情報の提供、預託、開示は行いません。

**どなたでも参加できます(参加無料)**

主催：経済産業省

財団法人 日本情報処理開発協会 (JIPDEC)

共催：公立はこだて未来大学

後援：文部科学省

<http://www.jipdec.jp/camp/> (詳しい応募内容は、ホームページをご覧ください)

# セキュリティキャンプ・キャラバン2006。 “若い力”、育てほしい。

若年層の情報セキュリティ意識の向上と優れたセキュリティ人材の発掘と育成を目的として、毎年夏に開催しております合宿形式でセキュリティ技術の実習と演習を行う「セキュリティキャンプ」も今年で3回目の開催を終了しました。

この機会に、過去3年間のセキュリティキャンプの成果とその蓄積されたノウハウを広く一般の方々にも公開すること、これからキャンプに参加していただきたい若い方々に正しい情報セキュリティの理解と意識の向上を図ってもらうことを目的として、「セキュリティキャンプ・キャラバン」を全国7箇所(予定)で開催します。

セキュリティキャンプ・キャラバンでは、

1. セキュリティキャンプとは?
2. 正しい情報セキュリティを理解する(セキュリティ基礎)
3. 最新の情報セキュリティ技術の動向を知る(セキュリティ応用)

という3つの内容を柱として、セキュリティキャンプの講師陣が各地を回って、セキュリティキャンプをご紹介させていただくとともに、本年度のセキュリティキャンプ2006のダイジェスト版ともいべき講義をいたします。

情報セキュリティに興味を持つ若い方々、情報セキュリティについて関心の無かった方や、日頃、セキュリティの問題でお悩みの方々など、広く多くの皆様に参加していただきまして、セキュリティキャンプについてご理解いただくとともに、正しい情報セキュリティについての理解を深めていただきたいと思います。

## 開催日程(予定を含む)

- ◆ 2006年12月 6日(水) 岩手県立大学
- ◆ 2006年12月10日(日) 富山県総合情報センター
- ◆ 2006年12月15日(金) 県立熊本工業高等学校
- ◆ 2006年12月17日(日) 公立はこだて未来大学
- ◆ 2007年1月 会津大学(予定)
- ◆ 2007年1月 島根大学(予定)
- ◆ 2007年2月17日(土) 広島工業大学

## セキュリティキャンプ・キャラバン函館の講義内容

### 1. セキュリティキャンプの紹介

- セキュリティキャンプとは?(目的と概要)
- 今年のセキュリティキャンプ2006レポート(ビデオ映像)
- キャンプ参加者の声を紹介

### 2. セキュリティ基礎(正しい情報セキュリティを学ぶ)

- セキュリティってどんなの?
- セキュリティの問題点
- ウィルス対策について考えてみよう
- ルールについて考えてみよう
- モラル・マナーについて考えてみよう
- セキュリティ関連の法律
- 自分のPCを守る など

### 3. セキュリティ応用(より深く情報セキュリティを学ぶ)

- マルウェアを体験する:  
参加者のほとんどは、マルウェアに自身が感染した、という経験を持っていないのではないかと思います。本講義では、普通のユーザによる日常的な操作の結果、「マルウェアに感染する」デモをごらんいただき、「実際に注意しなければならない点」について考察します。
- Webプログラミング基礎:  
最近、開発環境の発展により手軽にWebアプリを作れるようになった反面、セキュリティを考慮したプログラミングが益々重要になってきました。本講義ではクロスサイトスクリプティングの対策事例の紹介を交えながら最近話題のPlaggerについても解説します。

### 4. セキュリティ相談室

- セキュリティよろず相談
- 参加者と講師とのフリーディスカッション

※ 講師は、セキュリティキャンプ2006の講師陣が担当します。

## セキュリティキャンプとは?

若年層の情報セキュリティ意識の向上と優れたセキュリティ人材の発掘と育成を目的として、合宿形式でセキュリティ技術の講習と実習を行う「セキュリティキャンプ」。2006年8月に開催されたセキュリティキャンプ2006の一部を紹介いたします。

- 講義科目は内容豊富、自分の興味に応じて選択できます

### 基本科目

情報セキュリティの基本的内容や、モラルや法制度、またウィルス・ボット・スパイウェアやフィッシング詐欺など実際に自分たちの周りで起こりうる様々な脅威について学びました。

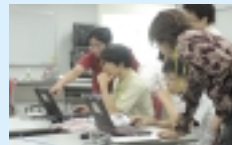


### 専門科目

- マルウェアに感染したらどうなるのか。
- パケット工作というインターネットの通信の根本を学ぶことでネットワークセキュリティを理解する。
- Webページのプログラミングを学ぶことでWebページのセキュリティ対策を理解する。

- セキュアサーバー構築やセキュアOSまで、サーバーに関するセキュリティを学ぶ。

など、最新のセキュリティ技術を学びました。



- “キャンプ”にしかない出会いがあります

講義内容と連動して様々なセキュリティに関するテーマについてグループ演習を行い、最終日に、研究成果を発表しました。また、セキュリティ業務の現場を体感できる企業見学会や、業界で活躍されている最先端の技術者の方々との交流会、そしてキャンプ全体を通じて、情報セキュリティの最先端で活躍している講師の方々との交流、出身地や年齢の異なる様々な参加者との共同生活により、将来貴重なものとなる出会いがありました。キャンプ後もここで出会った先生や仲間との交流は続いています。

